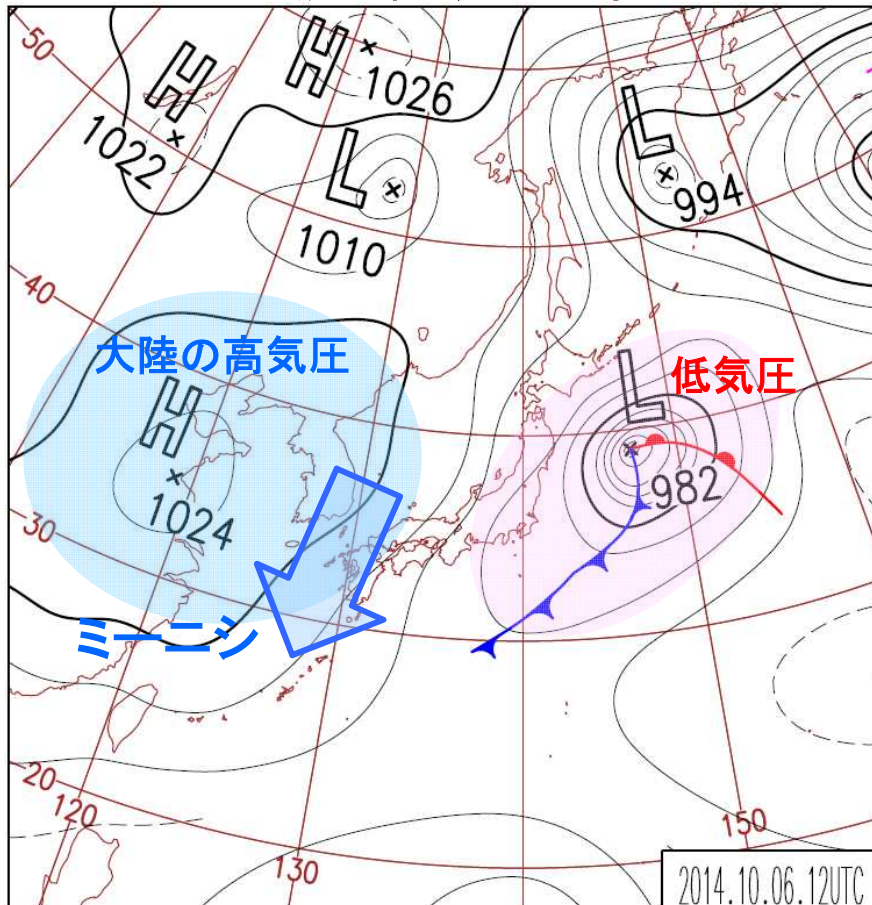


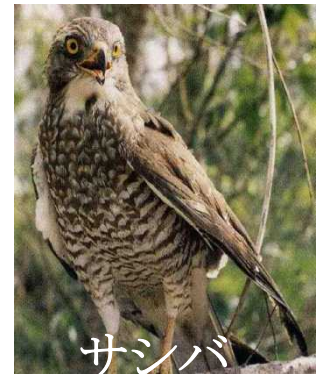
コラム②：ミーニシ（新しい北風）

秋になると、太平洋高気圧の勢力は弱まり、低気圧と高気圧が交互に日本付近を西から東へ通過します。このため、暖かくなったり、寒くなったりを繰り返しながら、気温は次第に低下します。10ごろには、秋雨前線が九州の南側に南下し、大陸の高気圧から季節風が吹きはじめます。沖縄地方においては、夏の南東季節風にとって代わる北東季節風の初めての吹き出しをミーニシ（直訳すると「新しい北風」）と呼びます。この時期は、「寒露の節」（沖縄で昔から四季の特性をあらわすのに用いられてきた二十四節気の一つ）にあたり、サシバ（写真）が南下します。その後、北東風が安定して吹き、気温も更に下がり、沖縄地方は冬に向かいます。

平成26年10月6日21時



天気図の説明(ミーニシ(新しい北風)のころ:平成26年10月6日)
日本の東には低気圧が見られる一方、大陸の冷たい高気圧が沖縄付近まで張り出しています。日本付近は一時的に「西高東低」の冬型の気圧配置となり、沖縄地方では、この冷たい高気圧から吹き出す季節風の影響を受けました。



サシバ

写真 冬を東南アジアで過ごすため、10月になると本土から大群で飛来します。



気象庁マスコットキャラクターはれるん

沖縄气象台提供